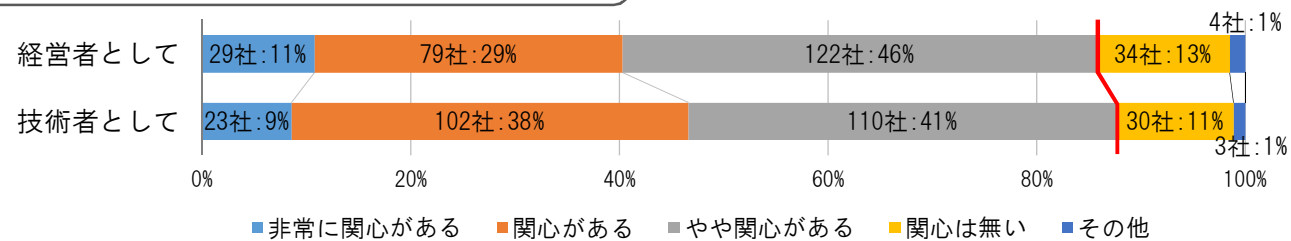


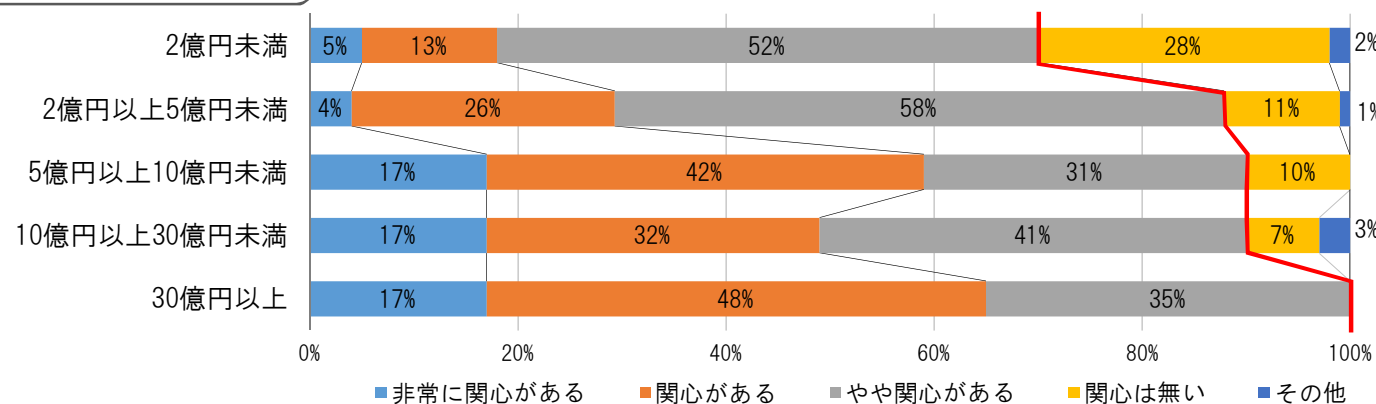
生産性向上に対する意識や取組の状況

I. ICT活用施工への関心

問：経営者と技術者、それぞれの立場における関心の度合い



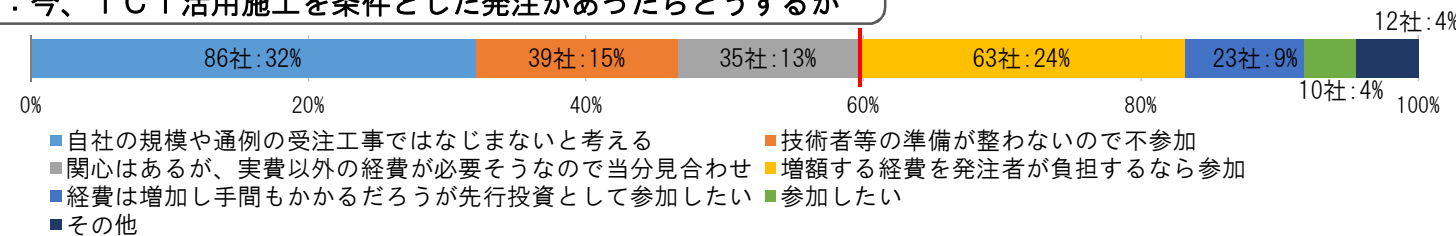
問：経営者の関心度と完工高



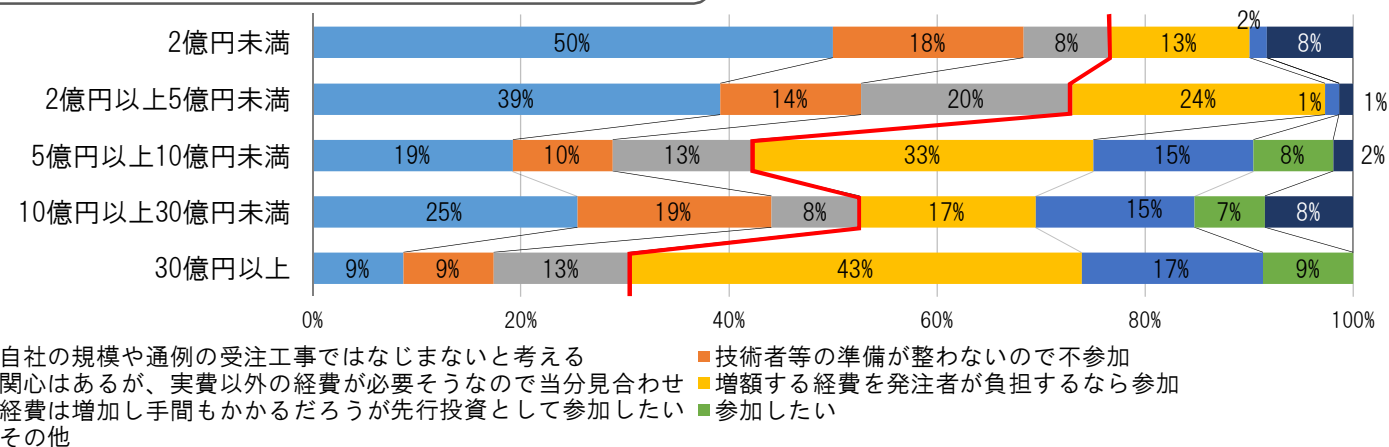
Point
 ■「非常に興味がある」「興味がある」「やや興味がある」の合計は、経営者の立場は86%、技術者の立場は88%
 ■完工高が多いほど関心が高い傾向がみられる

III. ICT活用施工を条件とした発注への対応

問：今、ICT活用施工を条件とした発注があったらどうするか



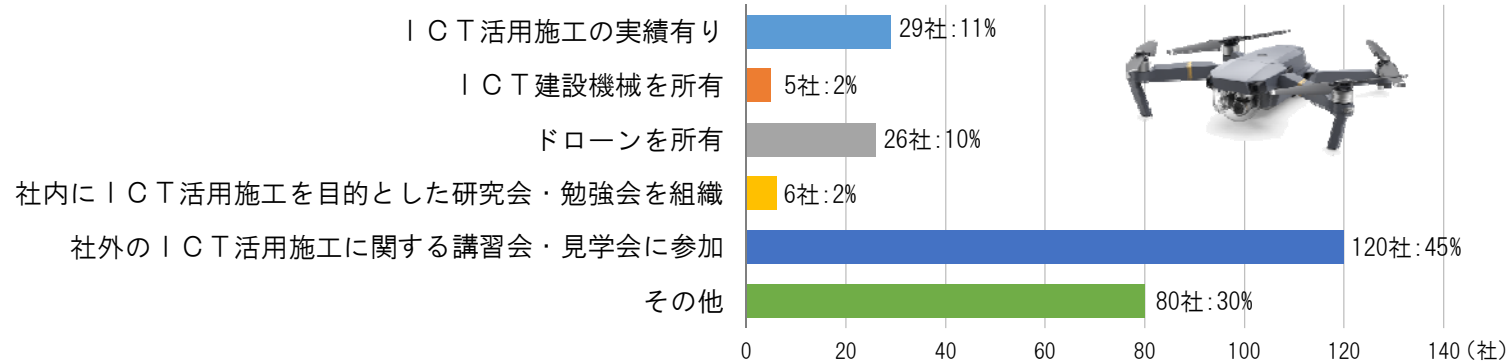
問：ICT活用施工を条件とした発注への対応と完工高



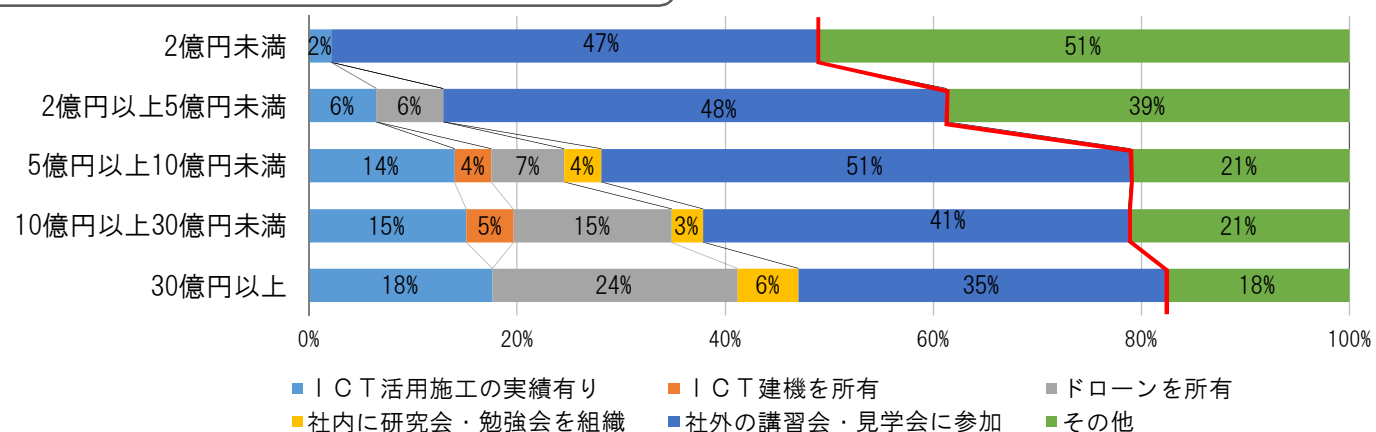
Point
 ■消極的な回答が160社(60%)、条件付きを含めた参加は96社(36%)
 ■完工高が多いほど参加の割合が増加する傾向がみられる

II. ICT活用施工に関する取組状況

問：ICT活用施工に関する今までの取組(複数回答)



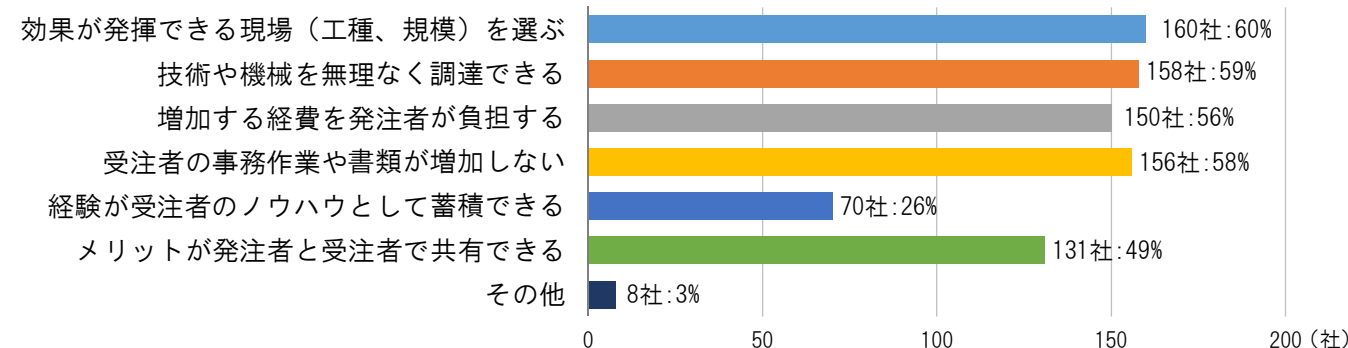
問：ICT活用施工に関する取組(複数回答)と完工高



Point
 ■268社中、45%が「社外への講習会・見学会に参加」を選択
 ■一方、「その他」の中で「未着手」との意見他が71社、無回答まで含めると113社(42%)

IV. ICT活用施工を取り入れるポイント

問：公共工事にICT活用施工を取り入れる場合、受注者として何が大事だと考えるか(複数回答)



Point
 ■約6割の会社が「効果が発揮できる現場を選択」「技術や機械を無理なく調達」「増加経費を発注者が負担」「事務作業が増加しない」を選択

V. 自由意見(抜粋)

【国交省のICT活用施工推進について】

- ・労働力不足・生産性向上の観点から期待が持てるが、経費や技術の蓄積等、どのように対応するかが課題
- ・安全性の向上につながる
- ・大規模かつ一貫性のある施工を要する工事において効果的だと思う
- ・中高年層社員は新たな技術習得に消極的
- ・導入教育や訓練等を発注者主導で開催してほしい
- ・長期的な方向性としては正しいと思うが、あまり急がないでほしい
- ・専用の重機、測量機器、ソフトウェア等、新たな投資金額が大きい

【貴社はICT活用施工をどうとらえているか】

- ・建設業界の大きな流れなので、積極的に取り組む必要があると考える
- ・導入していきたいが、ICTを活用する現場がない(導入する現場に限られる)
- ・効果が見込める工種であれば積極的に導入したい
- ・現時点では三次元起工測量からデータ納品まですべて自社で対応できないため、外注するしかない
- ・大規模造成工事での実績があるが、従来に比べてかなりの省力化が図れた
- ・小規模工事でも活用できる機会を検討中
- ・当社の規模や受注案件では馴染まない

【取り組む上での課題や苦労している点】

- ・ICTを活用できる人材の育成と確保
- ・初期投資や経費が高額
- ・導入メリットが見出せるかどうか
- ・若い技術者しか感心を示さない(ベテラン技術者にはなかなか受け入れられない)
- ・外注に依存するため、業者が不足している
- ・若手社員にとって、ICT活用以外の工事の技術習得が遅れてしまう
- ・研修機会の確保
- ・しっかりとした運用マニュアルがほしい
- ・発注者からのデータ提供をお願いしたい
- ・ICT工事が継続的に発注されることが必要